

魚沼民商だより

2016年
11月 14日
第2030号

〒946-0032

発行 魚沼民主商工会
新潟県魚沼市板木
電話025(792)3064
e-mail:uminsyo@rose.ocn.ne.jp

商売を語る交流会が 盛況に開かれました!

11月6日、ペンションドルフ(六日町)にて、カリスマ経営者・夜オリ仕掛人の岩沢健さん(上越民商 建設業・飲食店)を迎え、25人の参加者で商売を語る交流会が盛況に行われました。

岩沢さんは、9月18、19の両日、静岡県掛川市で開かれた全国業者青年交流会「俺よりスゴい奴に会いに行く!みんなて話せばもっと伸ばせるだに」(テーマ)のシンポジウムのパネリストとして大活躍した方です。そのスゴい方からお越しいただきました。

今交流会は、岩沢さんから講演をいただき、そのままパネルディスカッションへと移行しました。他のパネリストとして、今井眞一さん(建築・六日町)、中沢俊彦さん(旅館・塩沢)、高橋春治さん(自動車钣金塗装・六日町)の3人から登壇していただきました。



商売を

まず講演から「20才にユニットバス取付工事業に勤務し始め、26才で独立開業。そして交友関係が広いことから、上越市仲町の飲食店によく足を運んでいました。仲間からこんなにお酒が好きなら『自分のお店を持つたら!』のひとりで、開業することになり、飲食店の開業手続きで民商を入会しました」と、度胸のいいステキな話から始まりました。そして

商売人と経営者との違いとは「商売人は『俺が、俺がの世界』、しかし経営者は『従業員に教え育て、人を信頼しながら、経営者として育てる。責任を持たせることによって人は成長していく』と実践に伴った説得力のある話でした。このことは経営分野だけではなく、人との繋がり(結び付き)、また民商運動そのものを考えさせられる中身でした。



続いて今井さんからは「23才から親父と一緒に仕事を携わり、14年前に父が亡くなり事業継承しました。父の繋がりの仕事が減少し始め、これではいけないと思い、地域・子ども・学校関係等との結び付きを強め、社会にものごく貢献し、このことが仕事確保するうえで大きな財産となりました」と、そして住宅リフォーム補助金については「民商が住宅リフォーム補助制度の創設に大きな力を発揮してきました。自分は民商の良さを会外にアピールしている」と強調していました。

そして中沢さんからは「20年前に故郷に戻り、仕事を探していましたが、親の代から続いている旅館業を引継、建物を新築オープンし今日に至っています。昨夏、国の制度・持続化補助金採択事業者に選ばれました。『専用スタジオで音楽合宿 ロッチ石打ワンダースリー』パンフを作成し、顧客

拡大に挑みました。補助金申請書類を作ることによって、事業を見直すきっかけになりました」と話し、「面倒くさいを乗り越えることが大切」とも強調していました。最後に高橋さんからは「商売の出発は金儲けがしたい、人に使われるのがいやだったからでした。25才に車のクリーンニングから始まり、28才には『スピードキング』を暖簾分けしてもらい、今の工場を借金して建てました。色々な人との繋がりで沢山の仕事をさせていただいた。とても感謝しています。商売をしていなければ、今の生活はない」と話し、「昔は待ちの商売でしたが、今では行動を起こすことが大切」とも強調していました。

パネリストの発言後、フロアとの意見交換が行われ、時間が足りないほどの盛り上がりとなりました。さて参加者から「年だと思っていましたが、前向きに頑張ろうと思います」(左官)、「いい話しが聞けました。仕事に活用したいと思います」(旅館)、「青年の民商を育成していただければありがたいと思います」(建築板金)など、「今日参加して良かった」「今後またやって欲しい」と、多くの感想が寄せられました。

ウラ面もご覧下さい!

法律相談のお知らせ

日時 12月 15日(木) 午後1時より

会場 民商事務所

弁護士 加賀谷 達郎 先生
(新潟合同法律事務所)

相談料 3,000円

※予約制ですので早めに事務所までご連絡下さい。